

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	学校給食施設整備事業(改築)	会計	一般会計	事業No.	680	施策順No.	22-013
		事業種別	政策・その他	予算科目	10-6-4-12-2		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり			課等名	学校教育課		
施策	22 義務教育の充実			事業期間	開始	22	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	調理場・児童・生徒						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		児童生徒数	9639	9599	9464	9352	9332	
		学校給食調理場数	7	7	6	6	6	
意図	学校給食を楽しみにして健康で楽しい学校生活を送ることができる							
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	学校給食衛生管理基準を満たす調理場の割合				67	67	67	A
	食中毒等事故発生件数(件)	0	0	0	0	0	0	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	平成22年度に計画策定に着手(調理場完成までは長期間を要する)							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<細々目>事業名:学校給食施設整備事業費(単) 1 安心・安全な給食の提供 (1) 老朽化と現在の学校給食衛生管理基準から不適合となっている竜峡共同調理場・丸山共同調理場の改築 (2) 移転改築の中で配食担当校の再編成を検討 2 学校給食衛生管理基準の不適合施設・・・竜峡共同調理場・丸山共同調理場 3 同基準に基づき運営可能な施設・・・矢高共同調理場・南信濃給食センター・上郷小学校・高陵中学校 ①調理場改築全体計画作成 ②竜峡共同調理場の移転改築 ③丸山共同調理場の移転改築		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 調理場改築全体計画の作成 (1) 学校給食衛生管理基準に基づく新調理場の設備等の資料収集 (2) 各調理場配食数、面積、老朽化の状況の確認	検討会議	2回
23年度実施計画	1 調理場改築全体計画の作成 (1) 老朽施設の改築に伴い、飯田市全体の調理場の配置計画を作成 (2) 検討プロジェクトを設置し検討会議、先進地の視察 2 竜峡共同調理場の移転改築用地・建設建物の規模について調査・研究 (1) 用地の選定 (2) 調理食数による建物規模の検討 (3) 熱源、コンテナ等システム等の設備研究	プロジェクト会議	6回

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
		県支出金				
		起債				
		その他				
		一般財源			100	
		計 (A)	0	0	100	
		正規職員所要時間		80		
		臨時職員等所要時間				
		人件費計 (B)		286		
		トータルコスト A+B		286		

4 事業に対する市民や議会の意見

保護者や市民からは、安全で安心な給食の提供を続けて欲しいという要望がある。
---------------------------------------

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	学校給食を充実することによって児童生徒の健康な体を作ることが生きる力をつけることにつながる。	施策の成果指標又はムトス指標	学校が楽しいと感じている児童生徒 ア)小学生 イ)中学生 体力測定の結果 ア)小学生 イ)中学生
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・平成22年度に計画策定に向けた準備作業を行った。		
	後期に向けた課題	・後期計画中に、老朽化の激しい竜峡共同調理場の移転改築事業を実施する。合わせて丸山共同調理場の移転改築計画の中で、上郷小・高陵中の自校給食方式についての検討が必要である。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・監査委員による現地監査で老朽化の実態を視察し、早期改築の意見具申があった。これまでに検討会を2回開催。		
	後期に向けた課題	・調理方式の決定。用地の確保と決定が課題。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・コスト重視から大規模共同調理場(矢高)を平成8年に開設したが、リスクの増大と設備更新費用が莫大であることから、中規模で汎用機器を使用する調理場が最善であることを確認した。		
	後期に向けた課題	・運営コスト・開設コスト・教育上の効果等をバランスのとれた計画を作成していく。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・調理費用については市負担。材料費は保護者負担。		
	後期に向けた課題	・負担ルールは適切であり変更しない。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	・計画を策定する前段階。		
	後期に向けた課題	・民設民営についても視野に入れて検討する。		
全体を通じて	4年間の振り返り	・竜峡共同調理場の老朽化の状況から、早期の改築事業着手が必要であった。		
	後期に向けた課題	・竜峡共同調理場・丸山共同調理場の2カ所について後期計画の中で改築を計画する。 ・上郷小・高陵中の自校給食の取り扱いが課題。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	--	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	--